

平成29年度 山口市安心快適住まいる助成事業 FAQ(よくある質問)

【申請のとき】

1 受付について

Q 1 - 1 申請できる期間は決まっているのか？

A 1 - 1 申請の受付期間は、4月3日(金)から6月30日(金)の3か月間です。

Q 1 - 2 助成金の予算がなくなれば、受付が終わるのか？

A 1 - 2 **終わります。**
申請書の受付は、先着順となっています。

2 対象となる工事について

Q 2 - 1 **すでに工事を始めている場合や、工事が終わっている場合でも、助成の対象になるか？**

A 2 - 1 **助成の対象になりません。**
必ず、申請書を提出して、交付決定通知書を受け取ってから、工事を始めてください。

Q 2 - 2 **複数の助成対象工事をする予定があり、それぞれの工事を違う市内施工業者に依頼しようと考えているが、全部の工事が助成対象になるか？**

A 2 - 2 **全部の工事が助成の対象になります。**
ただし、申請できるのは、1つの住宅(外構工事の場合は1つの敷地)につき当該年度1回だけです。複数の工事をするときは、まとめて申請してください。
また、助成の対象になるには、次の要件をすべて満たすことが必要です。

- ・市内施工業者が施工する
- ・申請のときに、工事をまだ始めていない
- ・平成30年1月31日までに、工事を完了する
- ・工事費(消費税及び地方消費税を除く)の合計が10万円以上

Q 2 - 3 **市の他の助成等を受けている工事は、この助成の対象になるか？**

A 2 - 3 **下記の助成等を受けられる場合は対象になりません。**
ただし、この制度の申請をするときに、本市の他の助成等を受ける工事を含めない場合は、助成の対象になります。

【本市の他の助成等】

- 1 介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費
- 2 山口市重度障害者等住宅改修費

- 3 山口市合併処理浄化槽設置整備事業補助金
- 4 山口市住宅・建築物耐震化促進事業費補助金
- 5 山口市みどりの生活通り推進事業補助金
- 6 山口市空き家バンク改修事業補助金

Q 2 - 4 今年度、この助成を受けて工事をしたが、別の箇所も工事することになった。
もう一度、申請できるか？

A 2 - 4 **申請できません。**

この助成を受けることができるのは、1つの住宅（外構工事の場合は1つの敷地）につき当該年度1回だけです。

助成を受けたのが過年度であれば、今年度、もう一度申請できます。

A 2 - 5 防犯カメラや換気扇、コンロなど、機械を購入し、施工業者による取付工事をしない場合は、助成の対象になるか？

A 2 - 5 **助成の対象になりません。**

施工業者による取付工事をしないものは、対象になりません。

Q 2 - 6 助成の対象になる工事と対象にならない工事を一緒にする場合、管理費などのどちらの工事にもかかる経費は、助成の対象になるか？

A 2 - 6 **管理費などのうち、対象になる工事に関するものだけが、対象になります。**

なお、提出いただく見積書には、助成の対象にならない工事費は含めないでください。

Q 2 - 7 機械（エコキュート等）などをリースした場合、助成の対象になるか？

A 2 - 7 **助成の対象になりません。**

リースした機械は、リース会社などが所有者になるので、対象になりません。

Q 2 - 8 廃材処分費は助成の対象になるか？

A 2 - 8 **助成の対象になりません。**

Q 2 - 9 シロアリ防除工事は助成の対象になるか？

A 2 - 9 **助成の対象になりません。**

ただし、被害部分の改修や補強に係る工事は助成の対象になります。

Q 2 - 10 下水道の接続工事は対象となるか？

A 2-10 **一部助成の対象になる場合があります。**

公共マスから家屋までの外配管については対象となりませんが、下水道接続工事と同時に家屋内の配管工事やトイレ等の設置工事は対象となります。

Q 2-11 市の補助金を受けて合併浄化槽を設置し、あわせてトイレの設置工事をした場合は助成の対象となるか？

A 2-11 **助成の対象になります。**

浄化槽から家屋、放流口までの外配管については対象となりませんが、浄化槽設置工事と同時に家屋内の配管工事やトイレの設置工事は対象となります。

Q 2-12 太陽光発電装置と太陽熱利用機器の違いは何か？

A 2-12 太陽光発電装置は、太陽の「光」を直接的に電力に変換するものですが、太陽熱利用機器は、太陽の「熱」を利用して主にお湯をつくるものです。太陽熱利用機器の設置工事は助成の対象になります。

3 対象となる住宅・人について

Q 3-1 店舗や事業所などを工事する場合は、助成の対象になるか？

A 3-1 **助成の対象になりません。**

対象になるのは、居住している住宅、または、転入・転居により居住しようとする住宅です。

Q 3-2 店舗、事業所などと一体になっている住宅を工事する場合は、助成の対象になるか？

A 3-2 **助成の対象になります。**

ただし、店舗、事業所などの居住していない部分にかかる工事費は、対象になりません。

Q 3-3 住宅と同一棟にある車庫、物置などを工事する場合は、助成の対象になるか？

A 3-3 **助成の対象になります。**

住宅と別棟にある場合は、対象外になります。

Q 3-4 借家や賃貸アパートに住んでいるが、助成の対象になるか？

A 3-4 **助成の対象になります。**

居住している住宅であれば、所有していなくても対象になります。ただし、アパートやマンションの共有部分の工事は対象になりません。

なお、申請をする前には、必ず、住宅の所有者と調整してください。

Q 3-5 所有する貸家、貸マンション、貸アパートなどを工事する場合は、助成の対象になるか？

A 3-5 助成の対象になりません。

申請者が居住している住宅が対象になります。アパートなどの所有者が、その建物に居住している場合は、所有者の居住部分の工事は対象になります。

Q 3-6 母屋と別棟があり、両方を工事する場合に、それぞれ別に申請できるか？

A 3-6 母屋と別棟にそれぞれ別の世帯が居住していれば、それぞれ申請できます。

Q 3-7 市外や市内の別の場所に住んでいて、リフォーム後に転入、転居して住む場合は、申請することはできるか？

A 3-7 申請できます。

ただし、工事完了届（工事完了後30日以内）をしていただく時に、異動後の住民票の提出が必要となります。住民票により、居住の確認をします。

Q 3-8 住宅の所有者が単身赴任で市外に住んでいるが、申請することはできるか？

A 3-8 住宅に居住し、山口市に住民登録のある方が申請者になることで、申請することができます。

住宅の所有は関係なく、居住している方であれば、申請することができます。

Q 3-9 工事の支払いなどを、別居の家族がする場合、申請することはできるか？また、申請者は、居住者か？別居の家族か？

A 3-9 申請することができます。申請者は居住者です。

工事資金の調達や支払方法など、自己資金でなくても、助成の対象になります。金融機関から借入れた資金でも、対象になります。

Q 3-10 施工業者が、自分の住宅を工事する場合、申請することはできるか？

A 3-10 申請することができます。

ただし、金額の比較や妥当性の判断をするため、他社の見積書もあわせて、提出してください。

Q 3-11 子育て世帯加算について、今年中に19歳になる子どもがいるが申請時に18歳であれば対象となるのか？

A 3-11 子育て世帯加算の対象とはなりません。

子育て世帯加算では、平成11年4月2日以降に生まれた子どもを対象としています。

Q 3-12 子育て世帯加算について、高校の寮に入っており住民票を別にしている子どもがいる場合は、対象となるのか？

A 3-12 子育て世帯加算の対象となります。

第1号様式（別紙3）の備考欄に、理由及び現住所を記入してください。

4 対象となる施工業者について

Q 4-1 本店・本社が市外にあっても、市内に支店・営業所があれば、助成対象の市内施工業者になるか？

A 4-1 助成の対象の市内施工業者にはなりません。

市内施工業者の要件は、法人の場合、「本店・本社が山口市にあること」と「市内で1年以上継続して事業していること」です。

本店・本社が市外にあるので、市内施工業者にはなりません。

Q 4-2 市内に事業所がある個人事業者で、市外に住民登録がある場合は、助成対象の市内施工業者になるか？

A 4-2 助成の対象の市内施工業者にはなりません。

市内施工業者の要件は、個人事業者の場合、「山口市に住民登録があること」と「市内で1年以上継続して事業していること」です。

住民登録が市外にあるので、市内施工業者にはなりません。

Q 4-3 市外に事業所がある個人事業者で、市内に住民登録がある場合は、助成対象の施工事業者になるか？

A 4-3 助成の対象の市内施工業者にはなりません。

市内施工業者の要件は、個人事業者の場合、「山口市に住民登録があること」と「市内で1年以上継続して事業していること」です。

市外に事業所があるので、市内施工業者にはなりません。

Q 4-4 「市内において、1年以上継続して事業を営んでいる」とあるが、その基準は？

A 4-4 法人の場合は、登記簿謄本のなかの設立した年月日を確認します。個人事業主の場合は住民票、事業者からの聞き取りなどで確認します。

5 申請・提出書類等について

Q 5 - 1 申請書は、代理人（家族や施工業者など）が提出してもよいか？また、郵送で、提出できるか？

A 5 - 1 代理人（家族や施工業者など）も提出できます。また、郵送でも提出できます。

Q 5 - 2 申請書は、どこに提出すればよいか？

A 5 - 2 申請書の受付窓口は次のとおりです。

・山口商工会議所

本所 (〒753-0086 山口市中市町 1-10 ☎083-925-2300)

小郡支所 (〒754-0002 山口市小郡下郷 1248-13 ☎083-972-0075)

・山口県央商工会

阿知須支所 (〒754-1277 山口市阿知須 4233-31 ☎0836-65-2129)

秋穂支所 (〒754-1101 山口市秋穂東 6570 ☎083-984-2738)

阿東支所 (〒759-1513 山口市阿東徳佐下 25-1 ☎083-956-0032)

・徳地商工会 (〒747-0231 山口市徳地堀 1817 ☎0835-52-0026)

Q 5 - 3 申請書（第 1 号様式）に工事施工業者確認印の押印が必要だが、複数の施工業者がいる場合は、全部の施工業者の押印が必要か？

A 5 - 3 全部の施工業者の押印はいりません。押印するのは、第 1 号様式に記入した施工業者だけです。

Q 5 - 4 住民票は、どこで取れるのか？

A 5 - 4 住民票は、次の窓口で交付しています。

- ・ 山口市役所 市民課
- ・ 各総合支所 総合サービス課
- ・ 各地域交流センター 行政窓口（ただし、大殿、白石、湯田、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東の各地域交流センターには行政窓口がありません）
- ・ 阿東・徳地地域交流センター分館
- ・ 大海総合センター

詳細は、山口市役所HPを参考にしてください。

Q 5 - 5 住民票は、どのようなものがあるのか？

A 5 - 5 世帯全員のもので、続柄の記載のある住民票が必要です。（本籍は省略）

Q 5 - 6 市外に住んでいて、リフォーム後に転入して住む場合は、住民票はどのようにすればよいか？

A 5 - 6 現住所のある市町村で住民票の交付を受けて提出してください。
また、異動後の住民票を工事完了後、工事完了届（工事完了後30日以内）の際に提出してください。

Q 5 - 7 市内の別の場所に住んでいて、リフォーム後に転居して住む場合は、住民票はどのようにすればよいか？

A 5 - 7 異動前の現住所の住民票の交付を受けて提出してください。
また、異動後の住民票を工事完了後、工事完了届（工事完了後30日以内）の際に提出してください。

Q 5 - 8 滞納の無いことの証明は、どのようにすればよいか？

A 5 - 8 市で「滞納の無いことの証明書」を交付しているので、それを申請の添付書類にしてください。

Q 5 - 9 市外や市内の別の場所に住んでいて、リフォーム後に転入、転居して住む場合は、滞納のないことの証明はどうすればよいか？

A 5 - 9 滞納のないことの証明は、転入前であっても山口市が発行するものを提出をしてください。

市外に住んでいる場合でも、現住所の市町村ではなく、必ず山口市が発行する滞納のないことの証明を提出してください。この場合、現住所の確認のため住民票（コピー可）が必要となります。（現在住民票のある他市町村の滞納の無いことの証明は無効です。）

Q 5 - 10 滞納の無いことの証明は、どこで取れるのか？

A 5 - 10 滞納の無いことの証明書は、次の窓口で交付しています。

- ・ 山口市役所 市民税課
- ・ 各総合支所 総合サービス課
- ・ 各地域交流センター 行政窓口（ただし、大殿、白石、湯田、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東の各地域交流センターには行政窓口がありません）
- ・ 阿東・徳地地域交流センター分館
- ・ 大海総合センター

詳細は、山口市役所HPを参考にしてください。

Q 5 - 11 住民票、滞納の無いことの証明は、以前にとったものでもよいか？

A 5 - 11 1か月以内に交付された証明書を提出してください。

申請のときに居住していることと滞納がないことを確認するための書類です。古い証明書では、申請時の状況が確認できないので、1か月以内に交付されたものを提出してください。

Q 5 - 12 施工業者の所在を証する書類の登記簿謄本・住民票は、以前にとったものでよいか？

A 5 - 12 平成29年3月以降に交付された証明書の原本またはコピー(写し)を提出してください。

古い証明書では、申請のときの状況が確認できないので、平成29年3月以降に交付されたものを提出してください。

Q 5 - 13 施工業者の所在を証する書類として、「法人は登記簿謄本、個人事業者は住民票」とあるが、コピー(写し)でもよいか？

A 5 - 13 コピー(写し)で、よいです。

Q 5 - 14 施工業者の所在を証する書類として、「個人事業者は住民票」とあるが、どのような住民票がいるのか？

A 5 - 14 世帯の一部(本人のみ)のもので、本籍・続柄の記載のない住民票が必要です。

Q 5 - 15 施工業者の登記簿謄本・住民票は、複数の施工業者がいる場合、全部の施工業者のものが必要か？

A 5 - 15 全部の施工業者のものが必要です。

申請された工事が助成の対象になる市内施工業者による工事かを確認するため、全部の施工業者の証明書(コピー可)が必要です。

Q 5 - 16 工事着手前の写真について、屋根など、自分では撮影が難しい場合はどうすればよいか？

A 5 - 16 工事を始めるときに施工業者に撮影してもらい、完了届と一緒に提出してください。

Q 5 - 17 申請書と完了届の写真を提出するが、工事前と工事後の違いが写真ではわかりにくい場合は、どうすればよいか？

A 5 - 17 完了届のときに、工事後の写真と作業中の写真も提出してください。

【申請してから、工事完了まで】

6 工事をはじめるまで

Q 6 - 1 いつから工事を始められるか？

A 6 - 1 交付決定通知書を受け取ってから、工事を始めてください。

Q 6 - 2 申請した工事を取りやめることになった場合、どうすればよいか？

A 6 - 2 取下げ書（第 3 号様式）を申請された窓口へ提出してください。

Q 6 - 3 申請した工事の一部を取りやめることになった場合、どうすればよいか？

A 6 - 3 完了届で一部の工事を取りやめたことを報告してください。
なお、助成金の額は、申請した工事に対して支払った金額の 1 割（または 2 割）になります。（1, 0 0 0 円未満の端数は切り捨て）

Q 6 - 4 申請した後に、助成対象になる工事を追加することになった場合、どうすればよいか？

A 6 - 4 取下げ書（第 3 号様式）提出し、再度、申請をしてください。
ただし、再度、申請することができるのは、まだ始めていない工事だけです。
また、受付期間内に申請書を提出してください。

7 工事を始めてから

Q 7 - 1 工事の途中で、申請した工事の一部を取りやめることになった場合、どうすればよいか？

A 7 - 1 完了届で工事の一部を取りやめたことを報告してください。
なお、助成金の額は、申請した工事に対して支払った金額の 1 割（または 2 割）になります。助成の上限が 2 0 万円（または 4 0 万円）なので、申請した工事に対して支払った金額（消費税及び地方消費税を除く）が 2 0 0 万円以上のものは、助成金額の変更はありません。

Q 7 - 2 工事の途中で、別の助成対象になる工事を追加することになった場合、どうすればよいか？

A 7 - 2 完了届で工事を追加したことを報告してください。
なお、助成金の額は、交付決定通知書の額が上限です。
取下げ書（第 3 号様式）提出し、再申請することもできますが、再申請することができるのは、まだ工事を始めていない場合だけです。また、受付期間内に申請書を提出してください。

【工事が完了してから】

8 工事完了届について

Q 8-1 工事完了届は、いつまでに提出すればよいか？

A 8-1 工事完了後、30日以内に提出してください。

Q 8-2 工事完了届は代理人（家族や施工業者など）が提出してもよいか？また、郵送で、提出できるか？

A 8-2 代理人（家族や施工業者など）も提出できます。また、郵送でも提出できます。

Q 8-3 工事完了届は、どこに提出すればよいか？申請書を提出したところと違う受付場所でも提出できるか？

A 8-3 完了届の受付窓口は、申請受付窓口と同じで、次のとおりです。
必ず、申請書を提出したところに提出してください。

・山口商工会議所

本所 (☎753-0086 山口市中市町 1-10 ☎083-925-2300)

小郡支所 (☎754-0002 山口市小郡下郷 1248-13 ☎083-972-0075)

・山口県央商工会

阿知須支所 (☎754-1277 山口市阿知須 4233-31 ☎0836-65-2129)

秋穂支所 (☎754-1101 山口市秋穂東 6570 ☎083-984-2738)

阿東支所 (☎759-1513 山口市阿東徳佐下 25-1 ☎083-956-0032)

・徳地商工会 (☎747-0231 山口市徳地堀 1817 ☎0835-52-0026)

Q 8-4 別居の家族（単身赴任や別居の子どもなど）が工事の支払いをしたので、領収書の宛名が申請者と違う場合、助成の対象になるか？

A 8-4 助成の対象となります。

ただし、助成金（市内共通商品券）を受領できるのは申請者のみになります。
なお、委任状の提出があった場合は、代理人が受領することができます。

Q 8-5 工事は完了したが、支払いがまだの場合、完了届を提出できるか？

A 8-5 提出できません。

支払いまでが完了している工事が助成の対象なので、完了届には領収書の写しの添付が必要です。

Q 8-6 支払額が申請した見積額より多かった場合は、どうなるのか？

A 8-6 助成金の額は、交付決定通知書の額が上限になります。

Q 8 - 7 支払額が申請した見積額より少なかった場合は、どうなるのか？

A 8 - 7 助成金の額は、申請した工事に対して支払った金額の1割（または2割）になります。

【確定通知が届いてから】

9 助成金の受取について

Q 9 - 1 助成金は、現金でもらえるのか？

A 9 - 1 現金ではなく、市内共通商品券でお渡しします。

Q 9 - 2 助成金（市内共通商品券）は、どのように受け取るのか？

A 9 - 2 助成金は、申請書・完了届を提出した窓口で受け取ってください。
窓口に来るときには、郵送した請求書兼領収書と認印を持ってきてください。
また、本人確認をするので、運転免許証や健康保険証などの本人確認資料を忘れず、持ってきてください。
準備の都合上、来所日時の事前連絡をお願いします。

Q 9 - 3 助成金（市内共通商品券）は、代理人が受け取ってもよいのか？

A 9 - 3 原則として、本人が受け取ってください。
ただし、やむを得ない場合は、申請者が自書・押印した委任状があれば、代理人を受け取れます。
代理人は、窓口に委任状・請求書兼領収書（申請者が記入・押印したもの）を持ってきてください。窓口では代理人の本人確認をするので、運転免許証や健康保険証などの代理人の本人確認資料を忘れず、持ってきてください。

Q 9 - 4 助成金（市内共通商品券）の受取期限はあるのか？

A 9 - 4 確定通知書で指定された日までに受け取ってください。
受取ができる期間は、約2か月間を予定しています。ただし、商品券を発行できるのは、平成30年3月30日（金）までなので、2月以降に確定通知書が届いた方は、受取れる期間が短くなりますが、ご了承ください。

Q 9 - 5 助成金（市内共通商品券）は、どこで使えるのか？

A 9 - 5 市内共通商品券の取扱の登録のある店舗で使えます。
商品券と一緒に取扱店舗一覧をお渡しするので、ご覧ください。また、山口商工会議所のHPでも確認できます。

Q 9－6 助成金（市内共通商品券）に、有効期限はあるか？

A 9－6 商品券の発行日から、6 か月間、使用できます。

10 アンケートについて

Q10－1 アンケートはどのようにすればよいか？

A10－1 受けとられた商品券を使用した後にアンケートの記入をされ、返信用封筒に入れて投函してください。（切手の貼付は不要です）

ただし、商品券の用途が決まっている場合は、商品券の使用前にアンケートの記入をされても構いません。

Q10－2 アンケートの提出期限までに商品券の全部を使わない場合は、アンケートの記入をしなくてもよいか？

A10－2 商品券の未使用部分については、予定で構いませんので、アンケートの記入をして下さい。